

横浜でのPSモデル事業の取り組み —若者の就労支援を切り口に—

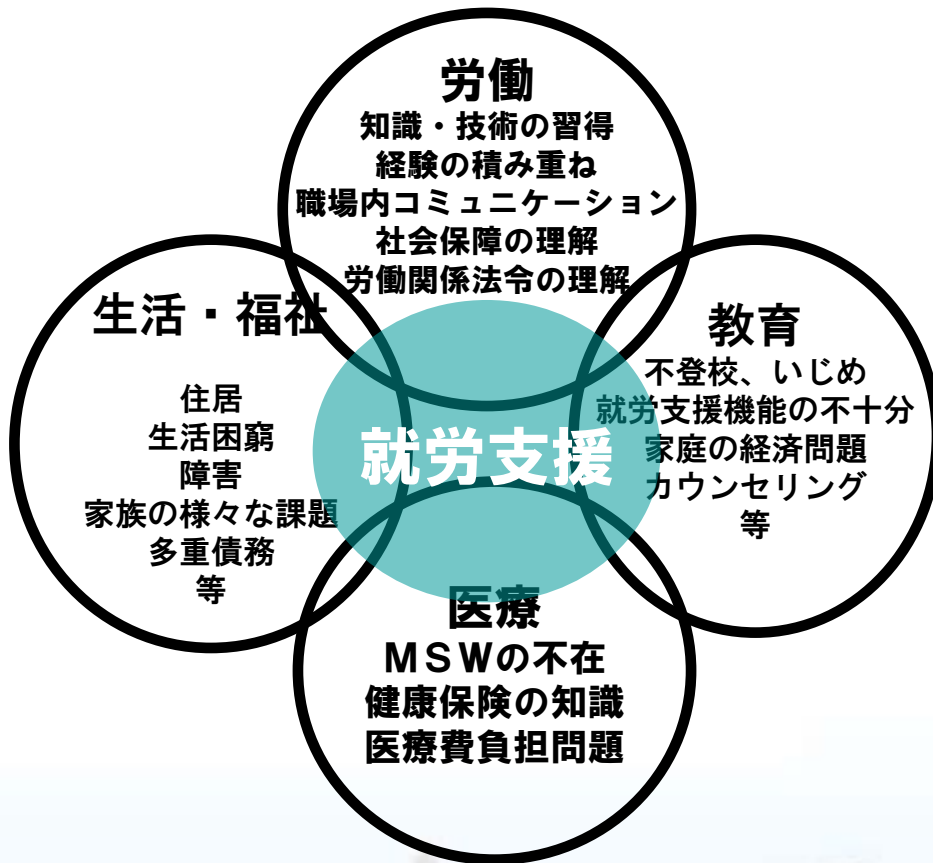
市民が創るヨコハマ若者応援特区準備委員会

鈴木晶子

(特定非営利活動法人ユースポート横浜)



若者就労支援に求められている役割



就労支援が果たすべき役割

- * 領域間の移行・連絡がスムーズにいかない
- * 各領域が取りこぼしている・きた

そんな若者が自分に必要な様々な支援を受けながら徐々に将来の見通しを立て、自立していくことに伴走する。

若者就労支援に必要な体制

担当部局の業務の一部の当事業への分化・協働

労働

生活・福祉

医療

教育

行政

担当部局の
施策

担当部局の
施策

担当部局の
施策

担当部局の
施策

若

者

就

労

支

援

分野を横断して支援を行うことが必要

各NPOの
活動

各NPOの
活動

各NPOの
活動

各NPOの
活動

民間

主に横浜市内・神奈川県内で活動するNPOとの協働
企業からの支援と協働

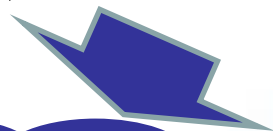
本取り組みの目的

「市民が創るヨコハマ若者応援特区」によって
制度立案者側、サービス提供者側の都合でつくられた
現状の縦割りに横串を刺し

徹底した利用者本位、人間本位の伴走支援体制を確立し
伴走支援を担う人材(=パーソナル・サポーター)を地域社会
の新たなソーシャルワークのプロフェッショナルとする



若者が夢や希望を抱く明るい社会の実現し、
社会的コストの増大を抑える



若者支援以外でも
必要な支援体制を
広げていく



横浜以外でも
必要な支援体制
“ヨコハマ・モデル”を
広げていく

【代表団体活動紹介】

よこはま若者サポートステーションの取り組み

よこはま若者サポートステーション

(運営:特定非営利活動法人ユースポート横濱)

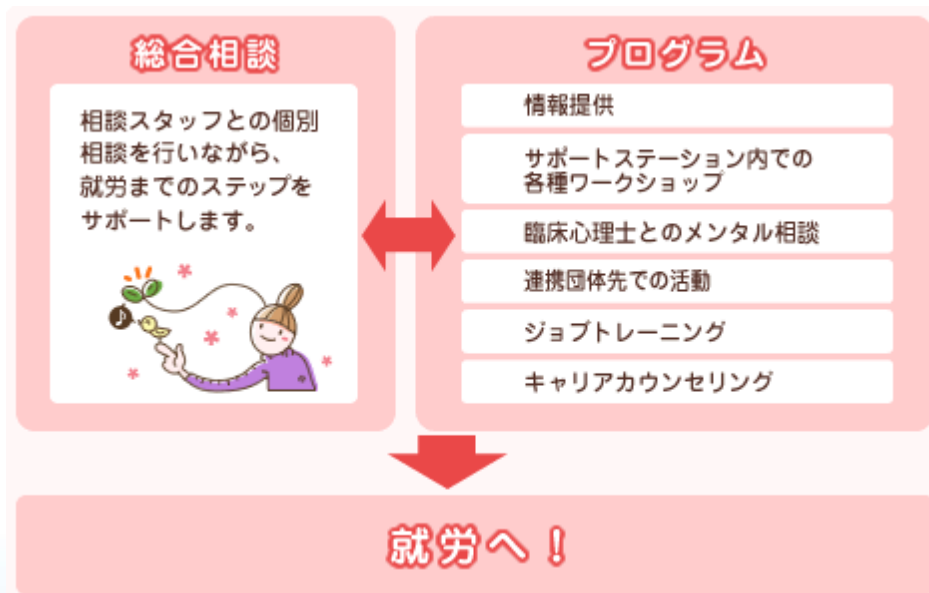
施設長 鈴木晶子

(臨床心理士)

よこはま若者サポートステーション

無業の若者の職業的自立を図るために、地域のネットワークを構築・活用しながら各人の置かれた状況に応じた個別的、継続的な対応による包括的な支援を行う地域若者サポートステーションの1つ

(所管:厚生労働省職業能力開発局育成支援課キャリア形成支援室)



【協力団体活動紹介例】

寿支援者交流会の取り組み

高沢幸男

1970年12月生まれ。1990年より、日本三大寄せ場のひとつ横浜・寿町に関わりはじめる。1992年12月に横浜駅で駅員の暴行事件を目撃。

それをきっかけに、寿支援者交流会の設立に参加。以来、横浜駅などの野宿生活者の訪問に参加。現在も継続中。

横浜市ホームレス巡回相談推進協議会委員、神奈川県ホームレス自立支援計画策定委員など

寿支援者交流会

- 1993年1月に寿町や野宿生活者と市民社会を繋ぐゆるやかなネットワークとして設立。
- 2000年横浜弁護士会人権賞受賞、2001年かながわボランタリィ基金21奨励賞受賞。

横浜のパーソナル・サポート・サービスモデル事業の協力体制

◆代表団体	
NPO法人ユースポート横濱	若者就労支援
※ ユースポート横濱が厚生労働省からの委託+横浜市の補助で実施しているよこはま若者サポートステーションの拡充事業としてパーソナル・サポート・サービスモデル事業を受託する予定である。	
◆協力団体	
NPO法人楠の木学園	若者支援
NPO法人リロード	若者支援
NPO法人月一の会	若者支援
株式会社シェアするココロ	若者支援
横浜YMCA	若者支援
寿支援者交流会	野宿者支援
NPO法人かながわ女のスペースみずら	女性支援(DV被害者等)
NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター	在住外国人支援
NPO法人夢・コミュニティ・ネットワーク	まちづくり・若者支援
社会福祉法人いきいき福祉会	高齢者支援
社会福祉法人たすけあいゆい	高齢者・母子支援
NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会	働く場づくり
労働者協同組合(ワーカーズコープ)センター事業団	働く場づくり
女性・市民コミュニティバンク	起業支援
障害者雇用人材サービス会社	障害者雇用支援

<事業に関する問合せ先>

NPO法人ユースポート横濱

担当者 鈴木 晶子

電話番号：045-316-1885

横浜市都市経営局都市経営推進室（都市経営推進課）

担当者 峰 聡明

電話番号：045-671-4205